

臨床研究についてのお願い

当院では下記の研究を行っております。

課題名：「泌尿器癌の病理標本を用いた深層学習による予後予測モデルの確立」に関する研究

＜目的及び概要＞

転移を有する前立腺癌や去勢抵抗性癌に対しては、従来のホルモン療法に加えて、新規抗アンドロゲン剤や化学療法などの新規薬物による治療が行われるようになりました。また、腎癌や尿路上皮癌では分子標的薬、化学療法に加えて免疫療法による治療が行われています。がんに対する治療選択枝が多岐にわたるなか、個々の患者さんに最適な治療法を選択できる方法が求められています。この研究では、がんの病理標本を人工知能に深層学習させることでがんの治療法に対する予後を予測する手法を確立することを目的としています。

＜研究方法＞

泌尿器科でがんの生検や手術をうける患者さんに対して、診断で用いた病理標本を提供いただくご協力をお願いしています。いただいた病理標本をデータへ変換し、人工知能に深層学習させて解析を行います。

研究の対象は、泌尿器科でがんと診断され生検や手術をうけた患者さん・「尿路性器癌に対する新たな診断マーカー・治療標的分子の探索に関する研究」に同意をいただいた患者さん・同意取得時の年齢が20歳以上である患者さん、です。

本研究では個人を特定しうる情報として病歴・カルテ番号・生年月日など、試料として生検や手術で取り出した組織の一部を登録・使用する。代表研究機関（大阪大学医学部附属病院泌尿器科）へのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。病理標本のデータへの変換は大阪大学で行う、もしくは病理標本を京都大学へ提供し行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

＜研究成果発表＞

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報公表されることはありません。

＜研究者＞

泌尿器科： 吉田栄宏 他

＜問い合わせ先＞

本研究に関するお問い合わせや診療情報の利用を望まれない方は、下記までご連絡ください。

兵庫県立西宮病院 医事企画課

電話：0798-34-5151（代表）